

平成 27 年 5 月 14 日(木)

国土交通省 関東地方整備局  
東京港湾事務所

## 記者発表資料

### 平成27年度 東京港湾事務所の事業概要について

東京港湾事務所では、国際競争力強化の観点から、コンテナ取扱施設の能力不足を解消し、効率的な物流機能の維持や輸送コストを削減するため、国際コンテナ戦略港湾「京浜港」の一翼を担う東京港において、大水深岸壁を有するコンテナターミナル（Y3）及び円滑な物流を確保する臨港道路（南北線）の整備を行います。

平成 27 年度の東京港湾事務所の主要事業は以下のとおりです。

東京港中央防波堤外側地区においては、水深 16m の耐震強化岸壁の整備を実施し、基幹航路におけるコンテナ船の大型化に対応します。耐震強化岸壁の整備により、大規模地震時においても物流機能を維持し、国民生活と経済活動を支えます。

東京港中央防波堤地区においては、各開発に伴う将来交通需要の増大に対応するため、中央防波堤側と有明側を結ぶ主動線として、臨港道路（南北線）を整備し、都市機能が集積している臨海副都心周辺の渋滞緩和、交通の安全性確保に寄与します。

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

#### 問い合わせ先

所 属	国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所
氏 名	副所長 <small>うえの まさあき</small> 上野雅明（内線 12） 工務課長 <small>なら さとし</small> 奈良智（内線 40）
電 話	03-5534-1360（代表）／ F A X 03-5534-1369

# 東京港 中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業

Y3岸壁(-16m)(耐震)

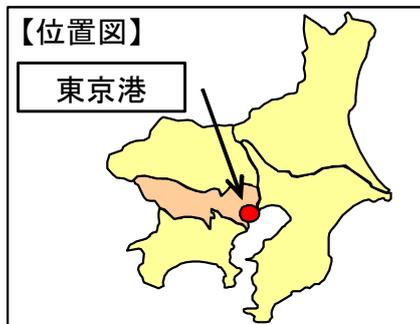
平成27年度事業費:約8億円

中央防波堤外側地区は、近年のコンテナ貨物量の増大に伴い、コンテナターミナル内や背後の道路等において激しい混雑が発生しております。

増大するコンテナ取扱量やコンテナ船の大型化に対応するため、我が国最大級の水深16m耐震強化岸壁の整備を進めています。

また、構造を耐震強化岸壁とすることにより、大規模地震発生時においても幹線貨物の輸送拠点としての物流機能を維持します。

平成27年度には、環境アセス等を行います。



# 東京港 10号地その2～中央防波堤外側地区臨港道路(南北線)整備事業

道路

平成27年度事業費:約27億円

中央防波堤外側地区においては、開発に伴う将来交通需要の増大に対応するため、中央防波堤側と有明側を結ぶ臨港道路(南北線)として整備します。

主動線である臨港道路の整備により、都市機能が集積している臨海副都心周辺の交通渋滞緩和、交通の安全性確保に寄与します。

平成27年度には、設計・環境アセス、仮設工等の工事を行います。

## 【位置図】

東京港

